

関西大学
外国語教育学研究科 講演会

外国語学習とコミュニケーションの 動機について考える

講演者：八島 智子教授
(関西大学外国語学部)



2019年
9月 2日 月 17:00-18:00

場所：関西大学東京センター

概要

外国語学習の動機づけを考える上で教育実践と研究の枠組みとなるいくつかの理論を紹介します。まず、「自己決定論」を用いて、外国語の学習がどのように自己概念に取り込まれるかという点から動機づけの変化を考えます。さらに、「理想の自己像 (ideal L2 self)」という概念により、目標とビジョンの役割を見ていきます。一方、コミュニケーションへの意欲を考える上の支柱としてWillingness to communicate (WTC)、情意面への配慮を踏まえ、実戦への展望を議論します。

略歴

関西大学外国語学部・大学院外国語教育学研究科教授。岡山大学大学院修了。博士（文化科学）。専門は、応用言語学と異文化間コミュニケーション論。現在の研究テーマは、異文化接触状況における対人行動と第二言語習得、外国語学習の動機づけ、情意的側面など。最近では国際誌、国際学会での発表を通して、非西洋的な観点からの発言を目指している。高等学校の検定教科書編集にも関わってきた。

詳しくは<http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/%7Eyashima/>

主催

関西大学外国語教育学研究科
<http://www.kansai-u.ac.jp/fl/graduate/index.html>